



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 日本空調サービス株式会社

コード番号 4658 URL <http://www.nikku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 生駒 讓三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 橋本 東海男

TEL 052-773-2511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,887	14.2	444	36.5	497	36.7	234	73.4
23年3月期第2四半期	13,909	△4.0	325	△50.7	363	△49.1	135	△56.7

(注)包括利益 24年3月期第2四半期 214百万円 (454.0%) 23年3月期第2四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.17	—
23年3月期第2四半期	15.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年3月期第2四半期	21,060		10,964		45.7
23年3月期	21,469		10,943		44.6

(参考)自己資本 24年3月期第2四半期 9,627百万円 23年3月期 9,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	14.00	—	18.00	32.00
24年3月期	—	14.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	1.8	1,400	21.8	1,470	21.5	760	73.2	88.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	9,946,000 株	23年3月期	9,946,000 株
24年3月期2Q	1,326,065 株	23年3月期	1,326,041 株
24年3月期2Q	8,619,958 株	23年3月期2Q	8,620,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算説明資料の入手方法)

当社は、平成23年11月11日にアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、急速に落ち込んだものの、サプライチェーンの復旧に伴い鉱工業生産が増加に転じるなど、持ち直しの動きとなっています。しかしながら震災前に続いていた企業収益の回復基調は、震災の影響による売上の落ち込みにより悪化しました。設備投資は、毀損した生産設備の復旧が押し上げ要因となる一方、円高や海外経済の先行き不透明感の高まりにより今後の設備投資計画の慎重化となっています。ビルメンテナンス業界においては、施設の維持管理コストの見直し意識が強く厳しい環境が続いておりますが、一方で電力不足による節電意識の高まりによって省エネや省コストの関心が高まりビジネスチャンスが生まれてきています。

このような経営環境の中、当社グループにおいては、サービスを提供する現場でのお客様との接点を最重要視し、当社のノウハウを活かした設備診断、ソリューション提案、省エネや省コスト提案を通じてお客様の求める潜在的ニーズの掘り起こしにつとめ、新規物件の獲得や既存契約の維持に取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間の売上高は158億87百万円(前年同期比14.2%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は4億44百万円(前年同期比36.5%増)、経常利益は4億97百万円(前年同期比36.7%増)四半期純利益は2億34百万円(前年同期比73.4%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の分析

(資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、210億60百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し、118億21百万円となりました。これは主に、たな卸資産が3億69百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が11億1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、92億39百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が4億33百万円増加し、建物が51百万円、投資有価証券40百万円、それぞれ減少したことなどによります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.1%減少し、100億96百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、80億63百万円となりました。これは主に、短期借入金が3億97百万円、その他が2億53百万円、未払費用が75百万円、未払法人税等が74百万円、受注損失引当金が71百万円、それぞれ増加し、支払手形・工事未払金等が11億10百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.9%減少し、20億32百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が68百万円増加し、長期借入金が1億63百万円、役員退職慰労引当金が62百万円、それぞれ減少したことなどによります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、109億64百万円となりました。自己資本比率は45.7%となり、前連結会計年度末に比べて1.1ポイント改善しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの中核事業である建物設備メンテナンス及びその重要な補完的役割を担う建物設備工事におきましては、東日本大震災後の景気の急速な落ち込みがありました。サプライチェーン復旧に伴い徐々に回復の動きとなっています。しかしながら、円高や国内エネルギー政策・海外経済の先行き不透明さから設備投資計画は慎重化しており、予断を許さない状況となっています。ビルメンテナンス業界においては依然、施設の維持管理コストの見直しが強く厳しい状況が続いておりますが、一方で電力不足問題による節電意識の高まりによって省エネや省コストへの関心がますます高まっております。

このような経営環境の中、よりお客様との接点を重要視し、「設備診断」「ソリューション提案」「省エネ・省コスト提案」に注力して、メンテナンス・リニューアル工事の拡大を図ってまいります。よって、平成24年3月期の通期業績見通しは次のとおりとなります。

	連結	
売上高	32,000 百万円	前期比 1.8%増
営業利益	1,400 百万円	前期比 21.8%増
経常利益	1,470 百万円	前期比 21.5%増
当期純利益	760 百万円	前期比 73.2%増

なお、上記の見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,727	3,637
受取手形・完成工事未収入金等	7,905	6,803
たな卸資産	432	801
その他	528	590
貸倒引当金	△12	△10
流動資産合計	12,581	11,821
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,448	2,397
土地	4,387	4,387
建設仮勘定	40	473
その他(純額)	160	156
有形固定資産合計	7,037	7,415
無形固定資産		
ソフトウェア	84	79
その他	24	24
無形固定資産合計	108	104
投資その他の資産		
投資有価証券	1,203	1,162
その他	574	592
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	1,741	1,719
固定資産合計	8,887	9,239
資産合計	21,469	21,060

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,201	3,091
短期借入金	572	970
1年内返済予定の長期借入金	403	407
未払金	1,492	1,448
未払費用	1,057	1,132
未払法人税等	193	268
受注損失引当金	2	74
その他	417	671
流動負債合計	8,341	8,063
固定負債		
長期借入金	862	699
退職給付引当金	683	751
役員退職慰労引当金	558	495
執行役員退職慰労引当金	57	63
資産除去債務	20	20
その他	1	1
固定負債合計	2,184	2,032
負債合計	10,525	10,096
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,139	1,139
資本剰余金	1,173	1,173
利益剰余金	7,755	7,834
自己株式	△660	△660
株主資本合計	9,408	9,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177	148
為替換算調整勘定	△9	△7
その他の包括利益累計額合計	168	140
少数株主持分	1,366	1,336
純資産合計	10,943	10,964
負債純資産合計	21,469	21,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,909	15,887
売上原価	11,539	13,251
売上総利益	2,369	2,636
販売費及び一般管理費	2,044	2,191
営業利益	325	444
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	15
保険配当金	4	18
受取保険金	15	15
その他	15	15
営業外収益合計	51	66
営業外費用		
支払利息	6	7
減価償却費	2	2
その他	4	2
営業外費用合計	12	12
経常利益	363	497
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4	—
固定資産売却益	99	0
その他	5	—
特別利益合計	109	0
特別損失		
固定資産売却損	61	0
固定資産除却損	0	21
投資有価証券評価損	—	8
貸倒引当金繰入額	41	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15	—
特別損失合計	117	30
税金等調整前四半期純利益	355	468
法人税等	186	227
少数株主損益調整前四半期純利益	169	240
少数株主利益	34	6
四半期純利益	135	234

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	169	240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	△27
為替換算調整勘定	△4	1
その他の包括利益合計	△130	△26
四半期包括利益	38	214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11	206
少数株主に係る四半期包括利益	27	7

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

該当事項はありません。